

＝ 病院の理念 ＝
人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ 480 2024年 8月号
【毎月5日発行】
（定価1部20円）
発行 東京勤労者医療会東葛病院
院長 井上 均
〒270-0153 千葉県流山市中102-1
TEL 04 (7159) 1011(代)
FAX 04 (7158) 9202
http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/

リハビリテーションの可能性 義肢装具療法で生活を支える

東葛の医療
リハビリテーション



北村依理医師

装具外来のご案内

義肢（義足）の進化

義足というとどんなイメージがありますか？ パラリンピックで走る膝下の切断の選手をイメージされる方も多いかもしれません。私がリハビリテーション医になってからも義足は大きく変化をしています。30年くらい前には、太ももの切断場合、義足を上手につけることは難しく、慣れている患者さんでも、つけるまでに何回もチャレンスをして10分15分と時間をかけてつける者でした。今は義足をダイアルで締めることが出来るタイプの物も出ています。（写真1）



写真1：義足装着した様子



写真2：外した義足

生活の再建

役割・趣味の再開へ 向けて

この義足で歩行訓練をして家に帰った方は、両手で4点杖をついて歩くことが出来るようになりました。家に帰ったら、主婦業に

戻りご飯を作り、カラオケで歌を歌いたい。りたいですね。カラオケボックスには自分で出かけたいため、電動4輪車（写真3）の利用を検討する。と言われていました。色々な体調・障碍のある方が色々な楽しみ方ができる世界である



写真3：屋外用電動4輪車

下腿（ひざ下）義足

ひざ下の義足も写真の様に多くは「シリコンライナー」（写真4、5）というシリコン製の靴下のようなものを装着し、その吸着力で義足をつるすタイプのものになっています。シリコンライナーの先にピンがついていて、ピンを義足に差し込む事で義足をつけられます。



写真4：シリコンライナー



写真5：下腿義足

リハビリテーション科の取り組み

東葛病院リハビリテーション科では積極的



写真6：下肢装具



写真7：靴用インソール

装具外来は毎週火曜日の午前中に業者さんが来院し3階のリハビリテーションセンターで行っています。（※予約制）



写真8：足の採型をしている様子



写真9：装具外来の部屋（ADL室）



@TOUKATSU.5B

リハビリテーション科での取り組みや装具外来等について、興味を持たれた方は是非QRコードを読み込んでみて下さい。



を行っています。また、脳卒中片麻痺の患者さん用の下肢装具も変化しており、麻痺の状態に合わせた下肢装具の調整を行っています。義足や、下肢装具だけでなく、変形した足のための足底板（靴の中敷きのようなもの）や、特殊な車椅子や座位保持装置などの調整も行なっています。（写真6・7）

聴診器



また暑い夏がやって来る▼日本の夏の平均気温は観測を始めた125年前から比べると、1・76度高くなっているそう、昨年に至っては30度以上となる日が90回。1年間のおよそ1/4が真夏日か猛暑日だったようだが、災害と言っているのは、この暑さではあるが、くれぐれも熱中症などへの対策には万全を期すようご注意ください▼▼そうそう酷暑は電気代への影響や農作物の高騰など私たちの生活へも直結する。また世界各地に目を向ければ異常な豪雨、巨大な台風、猛暑、森林火災、干ばつ、海面上昇などもはや気候危機と呼ぶべき非常事態である▼▼平均気温が今より2度上がれば洪水のリスクにさらされる人口は2・7倍に増加し、サンゴの生息域は99%減少するそうだ▼▼国連は2030年までに温室効果ガス（その大半は二酸化炭素）の排出を抑えなければ、平均気温の上昇は避けられない事を明らかにした▼日々の暑さの裏にも社会問題あり。これを機に出来る事から始めてみよう（純）